

(第2号様式)

首里東第 2431 号
令和 8 年 3 月 19 日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立首里東高等学校
校長 伊志嶺 嘉典
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月16日 16時～	場所	県立首里東高等学校 会議室	出席 状況	学校評議員2名欠席
第2回	日時	令和7年12月16日 15時～	場所	県立首里東高等学校 会議室	出席 状況	全員出席
第3回	日時	令和8年3月16日 16時～	場所	県立首里東高等学校 会議室	出席 状況	学校評議員1名欠席

2 学校評議員に求めた事項

- ①学期毎の各部、各学年の反省や課題等に対する指導助言
- ②授業参観における指導助言
- ③学校評価アンケート(職員・保護者・生徒)の結果分析による、今後の教育活動に対する指導助言

3 学校評議員の意見

- ①学校の情報発信ツールとして学校としてSNSを活用してはどうか。
- ②学校の補修事業として、OB・OGで資金造成を行ったり、生徒の個性を光らせた作品などを活かして資金造成はできないか。
- ③空き教室を活用して生徒の活動に活かしてほしい。
- ④欠席、遅刻指導は、社会に出る前提として大切。規律の厳しい職種のOB・OGを活用してはどうか。
- ⑤先を見据えた行動が課題。子どもたちにそれを与えるのは難儀だろうと感じる。教科以外の人生観などを話してくれると、生徒の人生観につながると思う。
- ⑥授業参観をして、昨年度と比べ寝ている生徒が少ない。サブグラウンド前の駐車について、安全対策をお願いしたい。
- ⑦デジタルを活用した授業をしてはどうか。追試、進学、就職等をオフィシャルのLINE(SNS等)を使って、親を巻き込んだコミュニティを活用してはどうか。
- ⑧同窓会も活用しながら、特色ある取り組みをしてほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ①外部人材を活用した進路講話等を進路指導、生徒指導、総合探求などで実施
- ②修学旅行で「まちなかENGLISH QUEST in みなとみらい」を実施
- ③新たな教育用システムを活用した、学習支援、進路支援、総合探求活動を実施予定。

5 課題その他

- ①施設の老朽化への対応
- ②生徒の自主性、自立性の精神と自己肯定感の醸成